

S-cubic 通信2023 No.17

北海道大学 大学院教育推進機構
先端人材育成センター 上級人材育成部門

大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide



S-cubic

研究が楽しくて
博士後期課程に
進学したけど…

アカデミアに
進みたいけど
将来が見えないし…

自分の専門を
活かせる企業が
思い浮かばない…

周りには
キャリア相談
できる同期が
少ないし…

研究が忙しくて
就職活動が
なかなか
できない…



そんなあなたは、まず企業と接し
てみよう、研究をするなら産業界と
いう広く大きな世界がある事に気が
付きます。

思いもよらない企業があなたの方
のような人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P12へGo!

D2/D3/PD
Type.1

【研究没頭タイプ】

●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

あなたはどのタイプ?

●DC進学か就職か、考え時だなあ…

●まだ余裕があるぞ、アカデミアか
企業か、しっかりと情報収集しよう!!

【計画設計タイプ】

Type.2
M1/M2/D1



そんなあなたは、自分の専門性の
活かし方を探ってみよう、そして
プラスアルファのスキル習得で大きく
幅を広げられるかも

研究は楽しいけれど
博士後期課程は
将来が不安…

大学と企業って
研究のやり方が
違うのかなあ…

早いうちに複数の
選択肢を検討して
おきたい…

企業では
どのような研究が
できるんだろうか…

社会に出てから
役立つスキルを
身に着けたい

P4でHi-Systemへまず登録、
P6へGo!

先端人材育成センターが提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型
(DC・PD)

意識改革型
(MC・DC・PD)

⑩ 博士力実践インターンシップ

業務を経験
.....P15へ

⑨ 赤い糸会

企業と論議
.....P13へ

⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD限定
.....P12へ

実践重視のD2、D3、PDへ

⑦ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る
.....P7へ

⑥ エントリーシート書き方セミナー

実践につなげる
.....P7へ

⑤ 小論文・作文セミナー

実践につなげる
.....P8へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る
.....P11へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る
.....P9へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る
.....P6へ

余裕のあるM1～D1へ

① Hi-System 登録

まずは
ここから!

全員登録!
.....P4へ

① Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの
お知らせが
届きます
(Event News)

企業情報や
就職情報の
閲覧が可能
(Company Info)

企業への
自己PRを
発信できます!
(Expose your PR
Information)

Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト
Exclusive information exchange platform



僕はアカデミア志向…
だけどTransferable Skill
はどんな場面でも必要だ。登録
して活用しよう!



MCでの就職も、DC進学後に
就職するのもおもしろそう。
情報やイベント満載だわ!
早く登録しよっと。

まずはご登録
ください!

Hi-Systemへは先端人材育成センターホームページよりアクセス!

Get access to Hi-System
from the Front Office for Human Resource Education and Development website!

<https://fohred.synfoster.hokudai.ac.jp/>

左バナー「Hi-System」→Hi-Systemログインページへ

Left banner "Hi-System"→Go to the Hi-System login page



みなさんをサポートするチームです

S-cubic

S-cubicは大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在學生、またPDの皆さんが多様なキャリア、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

COFRe

COFReはS-cubicで実施しているプログラムに加え、12大学(東北大学、新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、名古屋大学、立命館大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学)の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

I-HoP

I-HoPは英語で学ぶ外国人大学院生や研究者のためのプログラムを実施しています。英語での相談など、是非ご活用ください。

Twitter やってます



博士のための情報を発信するために
Twitter を運営しています。
是非フォローをしてお役立てください。

② キャリアマネジメントセミナー（授業）

MC・DC・PD

1. イノベーションの本質がわかる!
2. 企業の研究開発の考え方がわかる!
3. 社会で活躍するスキルが身につく!



企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。昨年は480人近くの受講者がありました。

1. 大学院共通授業科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目
(研究指導科目を含む)
キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

2022年度実施状況

※講義動画の配信により実施

	講義内容	講師	
1	イントロダクション	先端人材育成センター	吉原拓也
2	イノベーションを起こす	先端人材育成センター	吉原拓也
3	企業の種類と分析	先端人材育成センター	片垣麻理子
4	プレゼンテーション	物質・材料研究機構/ 元NHK科学番組ディレクター	小林隆司
5	知的財産マネジメント	先端人材育成センター	吉原拓也
6	アントレプレナーシップ	ベビログ	板羽宣人
7	マーケティング	日本電気	小糸達也
8	発想法	東京大学	藤本徹
9	商品創造/新商品開発	セコム	甘利康文
10	企画書の書き方	先端人材育成センター	吉原拓也
11	企業(1)先端技術と新規事業	ANAホールディングス	津田佳明
12	企業(2)先端技術と新規事業	ソニーグループ	矢藤有希
13	企業(3)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社	上野正一
14	企業(4)先端技術と新規事業	NHKエデュケーショナル	石戸功一
15	リーダーシップ	住友ファーマ	板倉朋宏

2023年度実施予定

開催日時:2023年4月~7月
毎週1コマ 全15回

受講方法(予定)

- ①Hi-Systemに登録し、イベント情報から「2023年度キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。
 - ②単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。
- ※詳細はシラバスをご覧ください



受講者の声

2022年度受講者アンケートより

この授業は今まで自分が受けていた授業とは異なり、勉強とは違った世の中で役に立つスキルだったり考えを教えてくれる授業なので履修してよかったなと思いました。この授業で学んだことを活かして今後の就活などに備えようと思います。

前期で一番面白い授業でした。就活にも生かされる場面がありましたし、今までルールに乗って何となく進学してきた私にとって将来を具体的に考えるいい機会になりました。できることをやりつくして、ばりばりに働く女になりたいです。

キャリアを考える上ではもちろん、普段の研究にも役立つ話題が多くて大変勉強になりました。また形式の話でいうと、個人的に確保できる時間が不規則になりがちだったので、オンデマンド形式はやりやすかったです。



⑥⑦ キャリアマネジメントセミナー（演習）

MC・DC・PD

1. 良い第一印象が身につく!
2. コミュニケーション力が向上する!
3. 博士らしいESが書けるようになる!



社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーと、エントリーシートの考え方を学ぶセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)及び(株)エマージングテクノロジーズより経験豊かな講師をお迎えしています。

ビジネスマナーの基本と実践

2023年度実施予定

2023年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象

社会人としてふさわしい接遇（おもてなし）の具体的な表現方法や、オンラインでのコミュニケーションのポイントをペアワークなどの演習をまじえながら学びます。

2022年度受講者アンケートより

2022年度実施状況

※オンラインで実施



ANAビジネスソリューション・高原講師

接遇という概念を知ることができたのが大きな学びとなった。相手が聞きやすい、面接しやすいという視点を持てたのが参考になった。

受講者同志の模擬面接、わかっているも実践できていないこととの乖離を感じられた。もっと準備と練習が必要であることを改めて認識しいきかけになった。本番で生かせるようにしたい。

大変満足でした。まず好印象を持ってもらうことが必要である点が特に響きました。

エントリーシート書き方セミナー

2023年度実施予定

2023年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

研究開発職向けのES書き方セミナーです。

webサイトに掲載されている一般的な書き方ではなく大学院生ならではの書き方を具体的に説明します。企業の研究職を目指し就職活動中の方に大変有効です。

2022年度実施状況

※オンラインで実施



エマージングテクノロジーズ・深澤講師

2022年度受講者アンケートより

就活に対する知識がほぼない状態でも分かりやすく、とてもためになりました。また、講師の方へ直接質問できる時間や環境があり、参加して良かったと思いました。

面接に生かす、内々定時に生かすESをかけるように研究でどんなことを頑張ったというのを洗いざらい書いてみようと思った。



⑤ キャリアマネジメントセミナー（演習）

MC・DC・PD

- 1.文章を書く基本がわかる！
- 2.文章を書く仕事のマインドセットがわかる！
- 3.自分が文章を書くときの癖がわかる！



マスコミ・サイエンスコミュニケーター等の就活のためのマインドセットや、採用試験の小論文・作文対策のため基本的なストーリーの作り方を学べるセミナーです。

(株)イノベーターズ・キャリア・サポート(ICaS)より経験豊かな講師をお迎えしています。

小論文・作文セミナー

～マスコミ・サイエンスコミュニケーター等を志望する方に役立つ就活対策～

2023年度実施予定

2023年8月～10月(予定)
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

2022年度受講者アンケートより

2022年度実施状況

※オンラインで実施



イノベーターズキャリアサポート
松尾講師

分かりやすい文章の型について理解することが出来ました。今回の講演で学んだことを活かして文章を書いてみたいと思います。

今まで曖昧なイメージしか抱けなかった業界についてより詳細なイメージを掴むきっかけになり、具体的にキャリアや目指すためのマインドセットを学ぶことができました。また、自身の希望するキャリアを実現する上でどのようにキャリア選択していくべきか、考える一助になりました。

研究職だけでなくマスコミなど文系のイメージの強い職種の講座もあるため幅が広がってありがたい。

小論文・作文添削

2023年度実施予定

2023年8月～10月(予定)
MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

決められた時間・文字数で作文を執筆していただき、講師が添削します。実際に執筆してみるとより効果的です。

2022年度受講者アンケートより

起承転結の基本の型の実践の場として参考になった。また、内容に深みが出るようなミクロ、マクロの話題の組み合わせ方が勉強になった。

実際に作文し、講師が丁寧に添削していただき、講師とのやり取りによって理解を深めたと思います。書き方は、今後申請書を書く際にも参考になるとと思います。非常に有意義なセミナーです。

③ Advanced COSA

MC・DC・PD

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!



企業研究開発の第一線で活躍されている研究所長や研究部長クラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話しも盛り込みます。

1. 大学院共通授業科目
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
(Advanced COSA(1)、(2)) (各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

2023年度開催予定

Advanced COSA(1):2023年7月頃(予定)
Advanced COSA(2):2023年11月頃(予定)

スケジュール

(1日目)	(2日目)
・ガイダンス(30分)	・企業講師③講演(60分)
・企業講師①講演(120分)	・質疑応答(50分)
・昼休み(60分)	・企業講師④講演(60分)
・質疑応答(60分)	・昼休み(60分)
・企業講師②講演(120分)	・質疑応答(50分)
・質疑応答(60分)	・企業講師⑤講演(60分)
	・質疑応答(50分)
	・総括討論、まとめ(30分)

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ 大日本住友製薬
■ 旭化成	■ テルモ
■ アステラス製薬	■ デンソー
■ アラヤ	■ 東急建設
■ 大塚製薬	■ 東レ
■ 花王	■ 新潟大学
■ 川崎重工	■ 日本アイ・ビー・エム
■ キューピー	■ 日本製鉄
■ 協和発酵キリン	■ 日本電気
■ クラシエ製薬	■ 日本電信電話
■ クレハ	■ ノバルティスファーマ
■ 神戸製鋼所	■ パナソニック
■ サントリー HD	■ 日立製作所
■ JSR	■ 堀場製作所
■ JNC	■ マルハニチロ
■ シスメックス	■ 三菱電機
■ 資生堂	■ メタジェン
■ 島津製作所	■ ヤンマー
■ 昭和電工	■ ライオン
■ 住友化学	■ ラクオリア創薬
■ 第一三共	■ レノバ
■ ダイセル	■ ロート製薬
■ 武田薬品工業	

※新型コロナウイルスの感染状況により構成が変わる場合があります。詳細はシラバスをご覧ください。

2022年度実施状況



川崎重工・柳本講師



島津製作所・渡邊講師



クレハ・小島講師



武田薬品工業・笠井講師



日本IBM・榎吉講師



大塚製薬・甲田講師



日本電気・芹沢講師



東レ・若尾講師



住友化学・榎講師



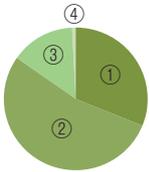
資生堂・辻講師

2022年度受講者アンケートより

質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

①②の肯定的な感想が85%



質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
 - ②ある程度理解している
 - ③よく理解していない
 - ④全く理解していない
- ①②のある程度以上 理解の比率が39%→94%



■受講生より■

- 企業の研究職や開発職の方は、大学時代の専門分野を仕事にしている方だけでなく、異分野の方もおり、多様性に富んでいる点が印象に残りました。
- 企業で研究開発をされている方が、どういった考え方で仕事に当たっているのか(なんでも面白そうと思う姿勢の持ち主など)を知ることができ、社会人としての心構えの作り方の参考になった。
- 就活のポイントはもちろん、生き方のヒントをもらった。講師の方々で共通していると思ったのは、固執しない、柔軟性が大事だということだ。言葉ではよく聞くんが、これだけの人が言うのだからそうなのだろう。

先輩からひとこと

Message

株式会社資生堂
みらい開発研究所
H31年3月 北海道大学 大学院
医学研究科 博士後期課程 修了



■ Advanced COSAについて

北大に在籍時は修士、博士課程を合わせて5回以上はAdvanced COSAに出席していたと記憶しております。就職説明会などで企業の紹介は聞くことはあっても、かなり長い時間、企業で働かれている方々のお話、しかも個人的なキャリアを聞くことができるのはAdvanced COSAならではのことで、進路選択や就職活動だけでなく、就職後のキャリア形成にも大変参考になっております。今回、スピーカー側になって感じたのは、学生の皆様の時間を相当拝借しますので、どこまで皆様のお役に立てるかはわかりませんが、話す以上何らかのメリットになると良いなと考えながら講演しました。おそらく他の講演される方々も同じような気持ちでお話されているはずですので、Advanced COSAに出席した際には何らかのメッセージなり学びなりを得ていただければと思います。

■ メッセージ

「博士人材の企業内研究促進 政府、4月から税優遇」この原稿を書いている今日のニュースです。また、昨今ではジョブ型雇用制度を導入する企業も増えてきています。大学院生の皆様には概ね追い風なのではないでしょうか。修士課程の学生はもちろんのこと博士課程の学生の需要も昔と比べ、民間企業においてあがっているのだと思います。これまで修士、博士課程の学生を採用していなかった企業も、今後採用を始めることもあるかと思っておりますので、様々な企業を調べてはいかがでしょうか。私見ですが、大学院生の強みというと専門性のように考えがちですが、この専門性を持っている経緯を経験したこと自体がかなりの強みだと思います。何が言いたいのかといいますと、専門性にこだわり過ぎずに、いろいろな企業にチャレンジしてみてもいいかと思いますが、思いがけないマッチングがあるかもしれませんよ。皆様のご活躍をお祈りしております。

Advanced COSAに参加して

Message

株式会社オキサイド
横浜事業所 レーザ事業部レーザ開発グループ
在学期間 R1年10月-R3年9月
北海道大学 大学院 工学院 博士後期課程



私は北大の修士修了後に医療機器メーカーで光学エンジニアとして働いたのち、ご縁があり博士課程へ進学することになりました。2019年10月に入学したので、半年経たずに新型コロナウイルス感染症があつという間に流行した世代でもあります。感染症による混乱を差し引いても、私の過ごし方は決して立派でなかったのですが、皆さまが自分と向き合うための「ものさし」の1つにしていただければ幸いです。博士課程の中で常感じていたのは「不安」でした。周囲に博士課程の学生が少なかったこともあり「どうやって進めばいいのかわからない、将来が不安」という気持ちを持っていました。不安のあまり、人材派遣会社で生化学実験手技を習得したり、教職履修を急に開始したりと、迷走(?)も多かったですが、結果的に研究生生活に役に立ちました。同じような不安をお持ちの方にこそ、S-cubicのカリキュラムをお勧めします。

中でもA-COSAでは、様々な職種とポジションの方から、企業での活躍の様子や、どんな価値観を持って人生を歩んできたかについて、濃度の高い講義が受けられます。これはとても貴重な機会で、大学を出た後には滅多に経験できないことです。先輩方の価値観は自分を測る「ものさし」となります。「ものさし」を活用して「もし自分だったらこうする」「こんなことをしたい」と考えを深めることこそが、生き方の決定=キャリア形成に繋がる、と私は思います。経験上、不安は次から次へと湧いてきます。しかし、キャリア形成について向き合ったことは得難い経験でしたし、不安を小さくする効果がありました。

受講する皆さまは「計画的偶発性理論」に触れると思いますが、本当にその通りでした、という話を最後にします。運よく始まったDX博士フェロシップ1期へ応募し、採択していただけたのは、プログラミングへの興味があったことに加えて、S-cubicのカリキュラムでキャリアを考え、伝えるために表現する機会があったおかげだと思います。何の経験がどこで生きるかわからないからこそ、目の前にあるできること、面白そうなことに、沢山挑戦してください。皆さまのご活躍を祈念いたします。

Advanced COLA

MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、産業界に活躍の場を見出された企業人の方3名をお招きし、人文・社会科学系大学院で学び、そこで身につけた教養が産業界でどのように活用できるのか、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただきます。また、人文・社会科学系の博士だからこそできる社会の課題解決についても論議します。

2022年度実施状況



アカリク・平田講師



北海道地域農業研究所・井上講師



NTTコミュニケーション科学基礎研究所・村田講師

2022年度受講者アンケートより

大変貴重なお話を聞くことができました。特に、同じ文系出身の方から、キャリアに関する考え方や心構えを学ぶことができたので、現在抱えている不安や悩みに向き合うきっかけになりました。

キャリアプランについて、どれくらいの期間で何をすべきかが明確になった。また、自分はまだ博士学生の生活にピンと来ていなかったのに、進学した場合に何をすべきかということもよりイメージできるようになった。

④ キャリアパス多様化支援セミナー

MC・DC・PD

- 1.ファシリテーションを実体験!
- 2.研究室でも活かせる交渉力!
- 3.専門性をアピールするプレゼン力!



大学院で学んだ専門性を幅広く社会で活かすためのスキルとして、ファシリテーション、交渉学、プレゼンテーションを身に付けるセミナーです。これらのスキルは知識として知っているだけでは、なかなか役に立ちません。基本的な事項を学んだ後、実際に演習をして、自分の癖や特徴を知り、それらを活かす方法を見つけ出しましょう。

- 1.大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」(1単位)
- 2.生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

2023年度実施予定

I(交渉学):2023年6月頃(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

II(プロジェクトファシリテーション):2023年7月頃(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

III(研究アピールカプレゼン演習):2023年11月頃(予定)

大学院生の最も大きな特徴は研究力が高いことです。しかし、学会と同じようなプレゼンでは、企業就職やアカポス獲得のようなキャリアを切り開く際には高い評価が得られません。自身の特徴や研究力をアピールするプレゼンを演習で身に付けます。

2022年度実施状況

I プロジェクトファシリテーション



古河電気工業・関講師

2022年度受講者アンケートより

実際に知らない人たちとグループワークをやってみて、アイスブレイクやファシリテーターの重要性を肌で感じることができました。

様々な場面でのファシリテーションの経験がある講師の話は新たな視点が得られてよかった。おそらく失敗もあったであろう経験からのアドバイスは、経験値が低く理屈で考えがちな自分にプラスになった。

II 交渉学



東京富士大学・隅田講師

2022年度受講者アンケートより

駆け引きよりのテクニックよりも、相手のことを知ることの方が交渉を有利に進めていくためには有効であることを身をもって体験することができた。

フレームに従って進めていけば訓練すれば誰でも一定の水準までは持っていけそうなどころまで落とし込まれていて実用的な話だったと思う。

III 知的財産権

※2022年度で終了



旭化成・大橋講師

前スコヒアファーマ・奥村講師

サイテックシステム・大坪講師

2022年度受講者アンケートより

知的財産についてほとんど知識がなかったが、知財に関する知識を持ち、それを有効に利用することが、産業の発展に非常に重要であるということを学ぶことが出来た。

特許を取る上では「基本特許・関所特許・周辺特許」という3つのレベルで戦略を立てることが有効であるという内容が印象に残りました。

⑧ J-window (キャリア相談)

DC・PD



1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 自分の特徴を活かす進路を探索!
3. プライベートな事も相談可!

WEBで得られる就活やキャリアに関する情報は学部生向けが多いため、専門性が高い大学院生が参考にする、その能力を活かすことができない結果になりがちです。また、大学院生の専門性を活かすキャリアは、その専門領域毎に異なるため、WEBから知識を得ることは困難です。博士課程の学生や博士を目指す大学院前期課程の学生はできるだけ早い時期にJ-windowで個別相談することをお勧めします。

主な就職先

(敬称略、五十音順)

■ 旭化成	■ クラシエホールディングス	■ 住友ファーマ	■ 日本電気	■ ラクオリア創薬
■ アステラス製薬	■ コニカミノルタ	■ 積水化学工業	■ 日本電信電話	■ ロート製薬
■ ウェザーニューズ	■ JSR	■ 大鵬薬品	■ プリヂストン	
■ SAPジャパン	■ 塩野義製薬	■ 中外製薬	■ paypayカード	
■ 大塚製薬	■ 島津製作所	■ トーマツ	■ 堀場製作所	
■ オキサイド	■ 昭和電工	■ トクヤマ	■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー	
■ 荻谷動物病院	■ 住友化学	■ 日本たばこ産業		

J-window を活用して

戸野塚 周平

教育学院 教育学専攻 (DC3)
→ PayPay カード株式会社内定



私が初めてJ-windowを利用したのは、博士1年の秋ごろです。当時、文系大学院博士課程に所属しながら、アカデミア以外での就職、すなわち、企業就職を目指す方が周りにもいませんでした。外部の助けが必要だと考え、別媒体の就職サイトへ情報を登録し、就職相談を行いました。しかし、文系所属の博士課程は就職先が限られるだけでなく、新卒や修士課程の学生とほぼ同じ扱いとなるため、就職は厳しいと言われました。世間で言われる文系博士の就職活動が厳しい状況にあるということを感じ、途方に暮れたのを覚えております。

そこで、修士課程在籍時に紹介されたJ-windowへ進路相談をさせていただきました。博士課程の就職に関する基礎知識(ex. 修士課程や学士課程との就活がなぜ違うのか)だけでなく、企業の方にとって魅力的なESの作成方法等といった就活に関する型を教えてくださいました。厳しい状況であることは変わりなかったのですが、就職活動を続けていく際の心の支えができたことを覚えております。

就職活動では、ES添削や面接練習で大変お世話になりました。最初に作成したESは改善点が多かったのですが、自分ではどう改善すればいいのかわかることができませんでした。仮にESが通っても、面接が通らず、何度もチャンスを手放してまいりました。共通していたのは、自分をより良く見せようという独りよがりの視点に立っており、企業の方からはどう見えているのかという相手側の視点が欠如していたことです。

しかし、吉原先生と松尾さんに何度も指導していただくことで、徐々に改善していきました。ES添削では自分の行ってきたことを簡略化しつつ如何に企業に魅力的に自分を伝えるかという文章構成や、面接対策では話す内容の整理や伝え方などを細かく教えてくださいました。何度も挫折そうになりましたが、先端人材育成センター、S-cubicの方々に支えていただいたことで、打席に立ち続けることができ、内定という結果を得ることができました。

アカデミア以外のキャリアにも興味を抱いた時は、是非J-windowを活用してみてください。挫折そうになった時や何かあったときに誰かに相談できる環境があるというのは、必ず大きな心の支えになります。最後になりましたが、先端人材育成センター、S-cubicの方々には本当にお世話になりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

J-window を活用して

谷 愛海

総合大学院 総合化学専攻 (DC3)
R5年3月修了予定
→ 大鵬薬品工業株式会社内定



私が初めてJ-windowを利用したのは博士2年の7月です。当時、アカデミアに進むか、企業に就職するか悩んでおり、面談をしていただきました。面談では、それぞれの道に進んだ時のメリットやデメリットを教えてください、悩んでいるならばと、赤い糸会への参加を勧めていただきました。赤い糸会は、企業側が開催している説明会とは異なって少人数制であり、そのため自分が聞きたいことを企業の方々にたくさん質問でき、非常に有意義な会でした。その際、企業でも大学と同じような研究の進め方ができることを知り、面談で聞いていたメリットやデメリットも踏まえ、企業就職に道を決めました。

企業就職に道を決めてからは、ESの添削や面接練習でJ-windowにお世話になりました。様々なコメントをいただきましたが、特に印象的だったことは、どうしてそう思ったのか、どうしてその考えに至ったのかなど、そのプロセスを表に出すことの方が大事だということでした。先生方との会話を通じて、プロセスが深掘りされ、自分の奥底にある考えが明白になり、より具体的な文章でESを書くことができました。自分の考えが明白になったからこそ、面接も自信をもって挑めたのだと思います。また面接練習では、Zoom面接に備え、パソコンの設置方法や光の当て方、印象がよく見えるコツなど細かいことも教えてくださいました。さらに、各企業が求めている人材の特徴なども教えてください、十分な対策をすることができました。順調に就活が進んだのも、J-windowのサポートのおかげだと思います。

また就活を通じて、博士課程の就活は修士までの就活とは異なり、企業とのマッチングが本当に重要であることを痛感しました。皆さんも是非、自分の納得のいくマッチングができるようにJ-windowを活用してみてください。最後になりましたが、多大なるサポートをしてくださった先端人材育成センターの皆様には心より感謝申し上げます。

⑨ 赤い糸会 (赤い糸ONLINE)

DC・PD



1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. その後に繋がる濃密な相互交流!

赤い糸会は異なる業界の企業と様々な分野の博士人材が相互交流し、博士人材が活躍できる場を探索するマッチングの場です。参加企業は自社の事業や研究開発の内容および博士人材への期待を発表し、博士人材は自身の研究内容や人となりをアピールし、さらには意見交換することにより、研究所見学やインターンシップ、個別相談等の次のステップに繋がります。新型コロナウイルスの感染状況により実施形態が対面またはオンラインになります。募集案内でご確認ください。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)
専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」
(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください

2023年度実施予定

2023年9月~12月に3回程度実施予定

オンライン実施時のスケジュール

- ・企業動画視聴
- ・博士人材プレゼン
- ・企業ルーム交流
- ・情報交換交流会

対面実施時の1日スケジュール

- ・主旨説明(20分)
- ・企業講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・博士人材のポスター発表(130分)
- ・企業との個別交流(120分)
- ・情報交換交流会(90分)

2022年度参加企業

(敬称略、五十音順)

■ 旭化成	■ 資生堂	■ 同仁医薬化工
■ 朝日新聞社	■ 島津製作所	■ 東レ
■ アステラス製薬	■ 昭和電工	■ トクヤマ
■ アミノアップ化学	■ 信越化学工業	■ とめ研究所
■ アルピオン	■ Spiber	■ 日本製鉄
■ ウェザーニューズ	■ 住友化学	■ 日本電気
■ エーザイ	■ 住友金属鉱山	■ 日本入試センター
■ SAPジャパン	■ 住友ファーマ	■ ノバルティスファーマ
■ 大塚製薬	■ セイコーエプソン	■ パナソニック
■ 京セラ	■ 積水化学工業	■ 富士通研究所
■ クラシエ製薬	■ 第一三共	■ プリチストン
■ クレハ	■ 大日本印刷	■ 堀場製作所
■ ケンブリッジコンサル タンツ	■ TDSE	■ みずほ第一フィナン シャルテクノロジー
■ 神戸製鋼所	■ データフォーシーズ	■ 三菱電機
■ コニカミノルタ	■ テルモ	■ リコー
■ 三桜工業	■ 東急建設	
■ JSR	■ 東京エレクトロングループ	
	■ 東芝	

2022年度実施状況



個別交流会(オンライン)



ポスター発表



個別交流会



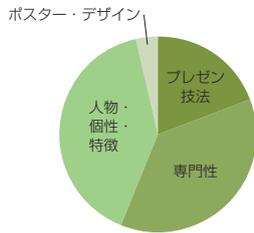
情報交換交流会

2022年度の総参加延べ数 企業:51社、博士人材:85名

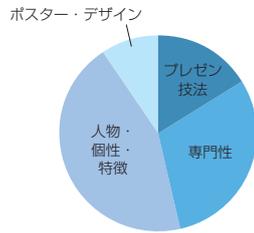
2022年度のアンケート結果

ポスター発表について

博士人材がアピールできた点



企業が注目する点



■博士人材より■

- 専門と必ずしも一致していなくても博士人材の能力を欲している企業があるというのが分かり、アカデミア以外にも自分が活躍できる場があるかもしれないと思えた。
- 企業の方が採用時に見るポイントや博士人材に求める姿が分かった。
- 短い時間でいかに自分を魅せられるかという部分でとても考えさせられる機会になった。

■企業担当者より■

- 研究遂行能力は、学位取得を通し十分獲得できると思われますので、その能力を適切に伝達できるプレゼンテーション能力を伸ばしていただければと思います。
- 博士課程修了後、どんな仕事をしたいのか可能な限り明確しておくとも良いかもしれない。そのためには、自分はどんなことができて、どんなことができないかを知ることが大切だと感じます。
- どの時間も積極的にご質問等頂き、多くの優秀な学生様と交流できる貴重な機会となりました。

OBとして赤い糸会に参加して 渡邊 裕貴

同仁医薬化工株式会社
研究開発部門 研究部
R3年3月 北海道大学 大学院
総合化学院 博士後期課程 修了



私は博士学生の頃にも赤い糸会に参加し、企業側としても何度か参加しています。私は現在、製薬企業で研究を行っており、2022年度は対面での交流会にも参加させていただきました。そこで、改めて対面の良さを感じました。対面の方が人となりがわかるからだと思います。各企業様にはそれぞれの雰囲気があると思いますので、学生さんの雰囲気がマッチするかは大事なのかなと思います。ただ、企業の方も学生さんも貴重な時間を割いて赤い糸会に参加しており、1日中という多くの時間を共有するというなかなかない機会なので、学生さんは企業の方の記憶に残るようにしないとたいないなと思います。ポスターが見やすいことや研究内容の説明がわかりやすいことだけではなく、企業の方に質問しに行くことやイベント終了後に一緒にご飯に行き交流を深めること等の積極的なアプローチはかなり効果的だと思います。自身の研究内容をわかりやすくまとめ、かつ専門知識のない人達でも理解できるように説明する能力に関しては、赤い糸会に限らず重要ですのでこの機会に鍛えておくことをお勧めします。

それと、私が学生の頃より大切にしていることですが、“縁”は皆さんも大切にしてください。今、弊社が赤い糸会に参加していることも前任の樋口先生や吉原先生達との縁のおかげです。最近、新規の産学連携の研究プロジェクトへの参画に声をかけてもらったのですが、それも縁あってのことでした。人との縁は本当に面白いと実感しているところですし、アカデミア・企業どちらの道に進むにしろ、大事にすると良いことがあると思います。

最後に、赤い糸会以外にも企業事業所視察等の他のイベントもぜひ活用してみると良いと思います。視野を広げる意味でもいいですし、何より先端人材育成センターの先生方やOB/OGの先輩方と飲むお酒はおいしかったです(笑)。いろいろなものを活用し、研究生生活・就職活動を頑張ってください。また、先端人材育成センターの皆様、今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

赤い糸会に参加して 萩野 裕太

生命科学院 生命科学専攻 (DC3)
R5年3月修了予定
→日本たばこ産業株式会社内定



私は博士課程進学当初から将来的な進路を民間企業への就職に決めていました。しかしながら、博士の就活についてはネット等でネガティブな情報も多く、研究に打ち込む傍ら就活に関しては漠然とした不安が常に頭の中にありました。そんな中、赤い糸会への参加は私が感じていた不安の多くを払拭してくれました。

私が感じていた大きな不安の一つは、「情報収集の難しさ」でした。博士向けの就活サイトは少なく、修士と異なり周りに就活を行う同期もいません。さらに、コロナ禍によるリモート化で就活生同士の人脈作りも難しくなっていました。そんな中、赤い糸会を通じて企業の人事担当者や先輩社員を始めとした多くの方々との交流でき、博士に対する企業の考え方や就活体験などリアルな情報を直接得ることができました。

さらに、赤い糸会で得た大きな収穫は、自身の活躍の場に対する認識の変化でした。博士である以上、自身の専門性を活かしたいと考えるのは自然なことです。私の場合も同様で、製薬企業を第一に志望し、それ以外の企業についてはあまり目を向けていませんでした。しかしながら、赤い糸会では自身が志望する業界以外の企業に対しても自己PRを行い、質問をする機会が有ります。その中で、企業の意外な事業内容や専門分野を超えた博士人材の活躍の仕方を知り、「自身が活躍できる企業」に対するイメージが一新されました。また、仕事内容についても、例えば、某化粧品会社では男性の研究員が試作した化粧品を同僚の女性に実際に使ってもらって感想を聞く等、専門性を抜きにして「面白い」と思える内容も聞くことができました。さらに、自身の専門と異なる企業の方々に対して自身の研究をわかりやすく伝える手法も学ぶことができ、まさに一石二鳥の経験でした。

最後になりますが、私が内定を得ることができたのは赤い糸会も含め、赤い糸カフェやES添削、面接練習等、先端人材育成センターによるサポートをフル活用した結果と考えています。どれも素晴らしいツールですので、これから就活を行う皆様にも活用を強くお勧めいたします。皆様の就活がうまくいくことを祈っております。

プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する博士人材は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関してはあまり詳しくない場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。2022年度は、赤い糸ONLINEに用いるプレゼンスライドの作成および対面の赤い糸会に向けたポスター作成のポイントやアピール方法について演習しました。

2023年度開催予定

各回の赤い糸会に先立って実施予定



⑩ 博士力実践インターンシップ

DC・PD

1. 実際に企業活動を体験してみる!
2. 自身が企業に向いているか判断!
3. 企業ならではの新しい視点獲得!



国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、説明会だけではわからない多様な社会での活躍方法を体得する機会です。企業が公募しているインターンシップにとどまらず、希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

2021年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
理学 DC2	化学	京都府	1か月
総合化学 DC1	化学	京都府	6週間

2022年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
情報科学 DC2	化学	神奈川	2か月
情報科学 DC1	化学	京都府	1か月

インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士學位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	10名
受入企業	国内外の企業・大学
期間	1~3か月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

1. 大学院共通授業科目「博士インターンシップ」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)「博士インターンシップ」(2単位)

受入企業からの声

企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

企業にとってのインターンシップの意義

- 大学との関係構築、協力関係の深化
- 優秀な人材の確保、発掘
- 新技術、新テーマの導入促進効果
- 職場の活性化
- 企業のPR

大学院博士後期課程で伸ばしておくべき能力

- 習った知識を駆使して問題を設定し、解決していく能力
- 複雑な課題を整理する能力
- 論理的に考える能力
- アイディアを創造していく能力
- 異分野技術者とのコミュニケーション能力
- 文章で的確に情報を伝える能力
- 社会に対する幅広い関心

インターンシップに行くまでの流れ



<ul style="list-style-type: none"> ■ アミノアップ化学 ■ アルファ水工コンサルタンツ ■ 医学生物学研究所 ■ 花王 ■ カネカ ■ 京セラ ■ クラシエ製薬 ■ 栗山町農業振興公社 ■ KDDI研究所 ■ 高研 ■ 神戸製鋼所 ■ サントリー HD ■ JFEエンジニアリング ■ JAきたみらい ■ JNC 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 塩野義製薬 ■ シスメックス ■ 島津製作所 ■ 住友化学 ■ 住友電気工業 ■ セラバリュース ■ ダイナックス ■ 帝人 ■ データフォーシーズ ■ 東急建設 ■ 東芝 ■ 東レ ■ 日生バイオ ■ ニッピ ■ 日本製鉄 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本電気 ■ 日本IBM ■ 日本アレフ ■ 日本ゼオン ■ 日本データサービス ■ パナソニック ■ 阪大微生物病研究会 ■ ピアメカニクス ■ 日立製作所 ■ 富士通研究所 ■ 北海道システム・サイエンス ■ マルハニチロ ■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー ■ 三井化学 ■ 三菱電機米国研究所 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヤンマー ■ リコー ■ リバネス ■ ロート製薬 ■ Alberta University ■ Bejo Seeds ■ Duke University ■ Dupont Pioneer ■ IAEA ■ NemGenix ■ New South Wales University ■ Sapienza - Università di Roma ■ Starfighters ■ Texas A&M University ■ The University of Massachusetts
---	--	---	---

インターンシップに参加して 石橋 篤季

理学院 宇宙理学専攻 (DC3)
R5年3月修了予定
→アカデミア



■参加の経緯

私は、『株式会社島津製作所』のインターンシップに、博士課程2年の7月頃に1ヶ月程度、参加しました。きっかけは、博士課程1年の秋頃に参加した『赤い糸会』でした。当時、私は学位取得後の進路について考えており、その選択のために企業の研究について知りたいという思いから、赤い糸会に参加しました。その中で、研究内容や方針に興味を持った島津製作所と交流することができ、『企業の研究とは大学とどのように違うのか』を直に知ることのできる絶好の機会だと考えたため、インターンシップへの参加を志望しました。

■感想

インターンシップに参加する中で、企業と大学での研究について、いくつかの違いを感じることができました。私は大学で装置開発をしており、インターンシップでも装置開発に近い内容の研究を行いました。大学の研究における装置開発では、調査したい課題がまずあり、それを明らかにすることに特化した性能を目指し、操作に経験的スキルが必要であっても測定できれば良いです。一方、企業ではさまざまな用途で扱える性能と、誰もが操作できることを目指すような装置開発を行なっているように感じました。また、企業では大学に比べてより広い分野の方々と関わりながら仕事ができるという魅力を感じました。

■メッセージ

インターンシップは企業の内部に入り込める貴重な機会です。今後の進路のより良い選択のためにもおすすめです。1ヶ月という期間は、企業の研究を知るだけでなく、企業内の周りの方々の働き方を観察する機会も与えてくれます。もちろん、大学での自分の研究が止まるというデメリットもありますが、同時に、自分の研究の方向性について視野を広げられる良い機会にもなると思います。ただし、企業と大学どちらも、所属する環境に依存して大きく異なる要素も大きいので、今後生きていく上で自分が何を重要とするかの優先順位をよく考えることが大切であり、私の中でインターンシップはそれを考える良い機会となったと思います。



博士インターンシップ報告会

MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月~3ヶ月程度)を体験した現役博士による体験報告会です。

2022年度実施状況

※オンラインで実施



2022年度受講者アンケートより

インターンシップに参加したいと思ってから決定するまでの流れなど詳しく聞くことができ、大変役立ちました。

就職活動を終えたばかりの先輩から非常に有意義なお話を聞けました。

2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、立命館大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携し13大学に規模が拡大しており、事業期間(8年間)が終了した後も継続して活動しています。また、この事業は科学技術振興機構による事後評価で最高位の「S評価」を受けています。当イベントに参加して内定した学生が翌年以降に企業側で参加する等、本学のイベントとして着実に根付いています。本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の12大学からも参加できますし、12大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、ご利用ください。

コンソーシアム活動(北大が代表校)

13大学が連携し、博士人材を育成



「博士・ポスドクのためのJob Fair」
「博士リテラシー育成塾」
今まで500人以上の博士が入塾

東北大学

「Hi-System」
「赤い糸会」
「キャリアパス多様化支援セミナー」
「Advanced COSA」
累計4500名以上の博士が登録



北海道大学

新メンバー参加でプログラム充実

新潟大学 「PhDリクルートフォーラム」

筑波大学

お茶の水女子大学 「ワークインプログレス」

東京外国語大学

横浜国立大学 「キャリアパスフォーラム」

立命館大学 「博士と企業のマッチングセミナー」

大阪大学 「博士後期課程学生と企業のCareer Fair」

神戸大学 「博士と企業人材の交流会」

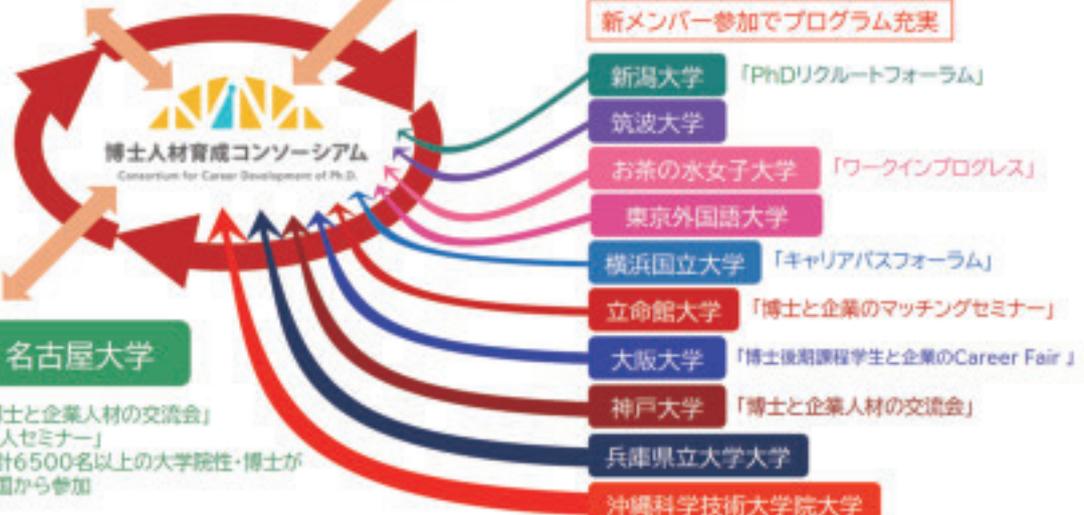
兵庫県立大学

沖縄科学技術大学院大学



「博士と企業人材の交流会」
「B人セミナー」
累計6500名以上の大学院生・博士が
全国から参加

名古屋大学



外国人DC・PDのための

I-HoP

外国人DC・PDを支援!

Graduate Career Development for International Students and Researchers

CAREER LINK MEETUP

-For international DC and PDs-(英語版赤い糸会)

外国人DC・PD

- 1.全編英語で行う赤い糸会!
- 2.応募時点で日本語力を求めない企業との直接交流!
- 3.外国人博士の日本での活躍の可能性を広げる!



国内でも極めて珍しい「博士向け」+「使用言語:英語」のマッチングイベントです。2019年初開催、2020年度からはオンラインで実施しています。当イベントに参加して内定した留学生が翌年以降に企業側で参加する等、本学のイベントとして着実に根付いています。企業7社~10社、外国人博士人材20~40名が参加し、日本語の赤い糸会同様に、企業からのショートトーク、博士人材による研究スキルやキャラクターの発表、企業のブースセッションにより、密度の高い交流を行います。I-HoPでは今後の継続開催に向けて、応募時点で日本語力を要求しない(英語で採用の可能性のある)企業の情報を収集しています。

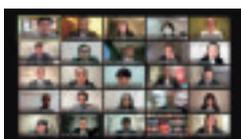
2023年度実施予定

年1回程度実施予定 外国人DC・PD対象

これまでの参加企業

(敬称略、AtoZ順)

- Accenture Japan Ltd(アクセンチュア) ■Astellas Pharma Inc.(アステラス製薬)
- AWL, Inc.(アウル) ■Cambridge Consultants Japan Inc(ケンブリッジコンサルタンツ)
- Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.(中外製薬) ■enU Pharma, Inc.(遠友ファーマ)
- INDETAIL Co., Ltd.(インディテール) ■KPMG Ignition Tokyo, Inc.
- KYOCERA Corporation(京セラ) ■Mitsubishi Aircraft Corporation(三菱航空機)
- MOLCURE Inc.(モルクア) ■NEC Corporation(日本電気)
- Rakuten Mobile, Inc.(楽天モバイル) ■Ridge-i Inc.(リッジアイ)
- ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.(ロート製薬)
- Sanoh Industrial Co., Ltd.(三桜工業) ■Shiseido Company, Limited(資生堂)
- Sony Corporation(ソニー) ■Sysmex Corporation



参加者アンケートより

-It was a good experience and I have learned a lot about companies' requirements.

-It was a great chance to talk with companies in English, and the good thing about this interaction was that at least the language gap was not an issue. All the discussions and meetings were fruitful and I got interested and will be applying to a couple of companies after attending this event.

-It was amazing event!!! I hope everyone can benefit from this event!!! It gave us a big chance to talk recruiters individually and help me in my job seek process!!! I am more confident and relief for future!

移転可能研究力強化セミナー

外国人DC・PD

- 1.英語による多様なセミナーを開催!
- 2.海外の研究者との交流!
- 3.視野をグローバルに広げる!



主に外国人博士人材の研究力強化、キャリアパス多様化等を目的として「英語論文執筆セミナー」「日本でのビジネスマナー」「海外でポジションを獲得した先輩留学生による講演」等の多様なセミナーを英語で開催しています。

2023年度実施予定

調整中

DC・PD対象(日本人含む)



2022年度開催セミナー(抜粋)

-Improving Your Oral Presentation Skills

-My journey from a PhD student at Hokkaido University to a postdoctoral research fellow in CANADA

-Job hunting in Japan from A to Z for international Ph.D. students

-I-HoP:Japanese Manners for Recruitment (11/10)

-Empowering Self Introduction to cultivate careers of researchers (11/1)

-Creating Effective Poster Presentations (11/15 Live from the USA)

-Writing a Manuscript for Journal Submission (12/1)

北海道大学 大学院教育推進機構 先端人材育成センター
センター長
教授 吉原 拓也



先端人材育成センターのS-cubicでは、大学院学生(MC・DC)や博士研究員(PD)等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル(Transferable Skills)を提供するプログラムです。

平成18(2006)年度にS-cubicがスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10年以上の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発・普及・定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー」、「博士力実践インターンシップ」、「Advanced COLA」などの新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成23(2011)年度以降はこれらプログラム単独、あるいは組み合わせで4つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PDと企業の登録制Webコミュニケーションシステム「Hi-System」、DCやPD専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムから採用を検討したい」などの嬉しい

コメントが寄せられており、これは長年に渡るS-cubic活動の積み重ねの成果と考えています。

また平成26(2014)年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の3大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに3大学コンソーシアムは新たな参加大学を迎え、令和4(2022)年度までに13大学まで発展することとなり、その人材育成プログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子「S-cubic通信」に詳しく記載しましたので、ぜひ一読下さい。

S-cubicは、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や業界とのマッチングの場等を提供します。まずHi-Systemに登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆さんのご活用を期待しています。

先端人材育成センター 組織と役割

先端人材育成センターでは、博士後期課程学生(DC)や博士研究員(PD)のキャリアデザインのための育成支援、連携大学とのコンソーシアムを組むことによるそれらの施策の共有化、学内外の連携による多様な研究人材の研究環境整備に取り組んでいます。

総長

理事

大学院教育推進機構

上級人材育成部門

S-cubic

1. 博士人材の就職支援事業の実施、意識調査、カウンセリング/J-window
2. 人材関係情報(大学院生、研究者、教員、企業)の交換や集積と解析/Hi-System
3. キャリア形成プログラムの開発と推進/Advanced COSA、Advanced COLA、キャリアマネジメントセミナー、キャリアパス多様化支援セミナー、演習や講習
4. 企業情報の直接入手とマッチング、自己PR能力向上/赤い糸会
5. 博士力実践の向上と実務体験/博士力実践インターンシップ

I-HoP(国際人材育成プログラム)

1. 海外からの若手研究者の意識調査、国内外大学院キャリア支援組織の調査と連携
2. 海外からの若手研究者のためのキャリア相談窓口設置
3. 海外からの若手研究者のためのキャリア形成プログラム開発

連携型博士研究人材育成推進部門

COFRE

1. 北大、東北大、名大で協働して若手研究者育成(現在は、大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、東京外国語大学、横浜国立大学、神戸大学、兵庫県立大学、立命館大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携)
2. 施策の相互乗り入れ、参加枠提供、共同開催

